

添付ファイルの説明 三次科学技術教育協会 平成28年11月6日2 PDFファイル

1ページ: 申請書

2ページ: 収支軽薄表

3-4ページ: 活動計画表

5ページ: 団体概要

6-7ページ: 消耗品リスト

8ページ: 助成で購入したい理由

消耗品302399円の内訳

補足説明「今回新規で申請した理由」(比較的購入金額が高くて、今回の助成で購入したい理由)

平成17年にNPO法人を設立し、科学体験をキーワードに三次市で活動をしてきた。このたび、新たに基金を設け、今後も継続的に、同じ趣旨の元で継続的に教室を開催していく。これに伴い備品の一部は、消耗品とは少し活動の趣旨の元で使用していきたい。特に、光とロボットの講座に関しては、次年度はもとより2年先以降まで行く長期計画を予定している。

平成29年度子どもゆめ基金助成金申請書

平成28年11月4日

独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長 殿

郵便番号: 728-0012

住所: 三次市十日市中4-1-1

ふりがな: みよしかがくぎじゅつきょういくきょうかい

団体名: 三次科学技術教育協会

代表者役職: 会長

ふりがな: ごとう くに あき

氏名: 後藤 邦 昭



(記名押印又は署名)

下記の活動を行いたいので、子どもゆめ基金助成金交付要綱第4条の規定に基づき、助成金申請書を提出します。

ふりがな	てんたいかんそくかい かがくたいけんこうざ		助成金交付申請額	
活動名	天体観測会、科学体験講座		378,000 円	
活動の分野(いずれか1つに○を記入)				
<input type="checkbox"/>	自然	<input checked="" type="checkbox"/>	科学	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	交流	<input type="checkbox"/>	社会奉仕	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	職場	<input type="checkbox"/>	総合・その他	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	読書			
活動の種類(いずれか1つに○を記入)				
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもを対象とする活動	経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動		
<input type="checkbox"/>	フォーラム等普及活動	<input type="checkbox"/>	指導者養成 → 資格取得(可能な場合)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	任意	<input type="checkbox"/>	必須	
活動期間	平成29年5月28日(日) ~平成30年3月11日(日) 全12回 参加者がいる活動期間(事前・事後指導含む)としてください。			
活動場所 (具体的に記入)	三次市三和総合公園、三次市生涯学習センター		広島	都・道・府・県
募集地域 (市区町村を記入)	三次市		※市区町村規模でなければ応募できません	
募集対象 (口内に○を記入)	<input checked="" type="checkbox"/>	未就学児 (4~6歳)	<input type="checkbox"/>	小学生 (1~6年生)
	<input type="checkbox"/>	中学生	<input type="checkbox"/>	高校生
<input type="checkbox"/>	大学生等	<input type="checkbox"/>	一般成人	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	保護者	その他()		
募集人数	子ども(高校生以下)		大人	
	10名 × 12 = 延べ120名		5名 × 12回 = 延べ 70名	
募集方法 (口内に○を記入)	<input checked="" type="checkbox"/>	チラシ(配布先: 三次市内小学校)	<input type="checkbox"/>	ポスター(掲示先: 三次市立図書館)
	<input type="checkbox"/>	広報誌(名称: 三次市小学校イベント案内)	<input type="checkbox"/>	その他(広報みよし)
参加費 (口内に○を記入)	<input checked="" type="checkbox"/>	有料 【1人あたり 200~1000円】	<input type="checkbox"/>	無料
共催	予定なし (国又は地方公共団体と共催する活動は助成の対象となりません。)			

	氏名	年齢	自宅住所	勤務先/所属先	連絡順
ふりがな 団体代表者	ごとう くに あき 後藤 邦 昭	73	三次市十日市中4-1-1	三次科学技術教育協会	3
連絡先	電話:0824-62-2772 携帯:		FAX :0824-62-2772 E-MAIL: pyx@pl.pionet.ne.jp		
ふりがな 連絡担当者①	たけむら せいいち 武村 精一	58	三次市三次町 1751-1-205	子鹿医療療育センター	1
連絡先	電話:0824-63-9703 携帯:090-4806-6796		FAX :0824-63-9703 E-MAIL:pde01406@nifty.ne.jp		
ふりがな 連絡担当者②	てらしげ たかし 寺重 隆視	57	広島市南区皆実町 4-6-12	広島国際大学	2
連絡先	電話:090-5267-3160 携帯:		FAX : E-MAIL:takabin1192@gmail.com		

注1. 団体の役員及び事務局職員等のうち、申請書の内容及び経費について責任を持って対応できる方を必ず3名(家族を除く)記入してください。

2. 記載された個人情報は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用しません。

(申請書)別紙様式1-B その2

収支計画表

		団体名	三次科学技術教育協会			
		活動名	天体観測会、科学体験講座			
		金額(円)	積算内訳 (積算根拠のない経費は、B. 助成対象外経費といたします)			
支出の部	助成対象経費 A	謝金	-	指導者謝金 = - 円 協力者謝金 = - 円 作成謝金 = - 円		
		旅費	38,200	三和公園分 指導者、協力者分 = 20,000 円 生涯学習分 指導者、協力者分 = 18,200 円		
		雑役務費	-	= - 円		
		その他の経費	印刷製本費	31,500	印刷用紙 350円*10個(5000枚) = 3,500 円 プリンターインク 2000円*14個 = 28,000 円	
			通信運搬費	2,460	切手代 82円*10回*3箇所 = 2,460 円	
			借料損料	4,000	会場冷暖房料金 500円*8回 = 4,000 円 (前日300円+当日200円)	
			消耗品費	302,399	実験材料費 立体型星座早見盤2000円*15個 = 30,000 円 実験材料費 ロボット等キット = 86,000 円 実験材料費 電池等(詳細別紙参照) = 186,399 円	
			経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動において特に助成の対象となる経費	-	= - 円	
		小計 A		378,559		
		助成対象外経費 B		39,040	旅費差額分 35円/km-25円/kmの差額 = 11,240 円 保険料 100円*(10名+3名)*9回 = 11,700 円 食費 300円*3人*4回 = 3,600 円 記録カメラ電池 3500円*2 = 7,000 円 記録SDカード 2000円*1 = 2,000 円 写真プリント用紙 2L、A3サイズ他 = 3,500 円	
	団体の自己資金でまかなう経費 C		10,560	← 自己資金 を充当すること (積算内訳の記入は不要です)		
	支出の総額 (A+B+C)		428,159	※ 収入の総額 と一致させること		
収入の部	子どもゆめ基金助成金交付申請額	378,000	← 小計 A の千円未満を切り捨てるかつ、50万円を超えないこと			
	参加費収入	28,000	200円~500円/人*8回分 = 28,000 円			
	補助金・寄附金等	-	= - 円			
	自己資金	22,159	← C ≤ 自己資金 となること			
収入の総額 (= 支出の総額)		428,159	※ 支出の総額 と一致させること			

	団体名	三次科学技術教育協会
ふりがな	てんたいかんそくかい かがくたいけんこうざ	
活動名	天体観測会、科学体験講座	

この活動を計画した目的やねらい(200字程度を厳守すること)

小中学校の理科授業の実験を通して、科学知識の習得は可能である。しかし自分の興味をより一層深めていきたい場合インターネット等で知識を得ることはできるが、実験器具、材料、指導体制が十分でないため、科学の体験が得難い。当協会のスタッフの指導により、実験器具等を実際に使用しながら、発見(気づき)のきっかけとなり、確かな知識として定着していくプロセスを重視しながら、経験をキーワードとして、科学の体験を深めていく。

活動の目的やねらいを達成するための具体的なプログラム名と主なポイント(箇条書きで3つまで)

<具体的なプログラム名>	<主なポイント>
天体観測会	<ul style="list-style-type: none"> 望遠鏡、双眼鏡等により肉眼で星空を実際に見ることを通して、星の微妙な色、明るさ、光芒などを体験する。写真などと異なった視点から星を見ることで、肉眼で見ることで、星の成り立ち、星座などの知識を得る。 自作の自転車の車輪を使用した器具を用いて、慣性の法則を体験する。
重さにチャレンジ、ロボット製作	<ul style="list-style-type: none"> ビー玉、発泡スチロール、ゼムクリップなどを使って 100g の重さにチャレンジすることで、重さと体積の関係についての理解を深める。 ロボットのキットを組み立てながら、プログラミングの基礎を学ぶ。小学生でも理解ができるような原理の説明に努める。
風力発電機、分光器を作る	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルを使用した風力発電機で LED を点灯させることで、電気の原理を学ぶ。 リレー機能の付いたキットで LED を点灯させクリスマスツリーを作る。LED の点灯原理を学ぶ。 DVD を使用した光の干渉キットを作成する。太陽光、白熱灯などを観察し、光の原理を学ぶ

月	日	曜日	時間	プログラム内容(開始時間と終了時間をいれること)
5	27	土	19:00~21:00	天体観測会(春、夏、秋、冬の4回実施する。開催場所:三和総合公園)
7	28	金	19:30~21:30	現地の三和総合公園に集合
9	23	土	19:00~21:00	西空に沈む月、惑星などを望遠鏡、双眼鏡などを使用して天体観察。その後、南、北、東の空の惑星、星雲星団などを望遠鏡、双眼鏡を使用して天体観察。合わせて星座の説明、星の起源、宇宙の構造などについて説明する。
12	16	土	18:30~20:30	

科学体験講座 (全6回を実施する。開催場所:三次市生涯学習センター クラフトルーム) 「タイトルとねらい」				
6	11	日	9:30~11:00	100gにチャレンジ:重さと体積の違いを体験から比重についての理解を深める
9	10	日	9:30~11:00	分光器の製作: DVD を使用した手作りの分光器を製作して光の原理を学ぶ
11	19	日	9:30~11:00	風力発電機を作る: 模型キットを制作し、扇風機等で実際に動かして電気の原理を学ぶ
12	24	日	9:30~11:00	LED によるクリスマスオーナメントの製作: 電池と LED を使用し、電気の原理を学ぶ
1	14	日	9:30~11:00	手作り望遠鏡を作る: 老眼鏡と拡大鏡を利用して手作りの望遠鏡を作り、光の原理を学ぶ
2	11	日	9:30~11:00	静電気で動く船を作る: 発泡スチロールなどで小型の船を製作し、静電気について学ぶ
2	25	日	9:30~11:00	ロボット講座1: ロボットキットを組み立てながらプログラミングを学ぶ その1
3	11	日	9:30~11:00	ロボット講座1: ロボットキットを組み立てながらプログラミングを学ぶ その2
「日程」 いずれも各プログラム共通				
9:30~ 概要と工作前の説明				
9:50~10:40 工作、動作確認、条件を変えて様々な体験など				
10:40~11:00 原理の説明、まとめ				
指導者名		後藤邦昭、寺重隆視、植敷光浩、狩山敏宏、武村精一、峠田真由美、西田寛治、木村志郎、岡崎憲治		
当日活動に携わる指導者等の人数(実人数)		指導者	1名	協力者
		(うち、団体構成員の人数		9名)
		3名		

参加者の 安全対策 健康管理	傷害保険への加入 (口内に○を記入)	<input type="radio"/>	する	しない(理由:)
	安全対策: 観測会場では、危険箇所への立ち入り禁止の表示とロープで通行規制を行う。 健康管理: 体調不良で感染症の疑いがある場合は、不参加とし体調管理に努める。(感染の広がりを防ぐ)			

団体名	三次科学技術教育協会
-----	------------

団体の種別 (□に○を記入)	<input type="checkbox"/> 公益社団法人	<input type="checkbox"/> 公益財団法人	<input type="checkbox"/> 一般社団法人	<input type="checkbox"/> 一般財団法人
	<input checked="" type="radio"/> 特定非営利活動法人		<input type="checkbox"/> 学校法人	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人
	<input type="checkbox"/> 民間企業	<input type="checkbox"/> 法人格なし	<input type="checkbox"/> その他()	
団体URL	http://mistee.b.la9.jp/			
団体設立年月	西暦2006年7月	団体の活動範囲	三次市、庄原市、安芸高田市	
団体が管理・運営する施設(※指定管理施設を含む)	なし			
団体設立の経緯・沿革	2005年三次市に「三次科学技術博物館開設」の市民提案を申請し2006年NPO法人「三次科学技術教育協会」の認可を受ける。三次市を中心として、天体講座、物理講座などを開催しながら、子どもから大人まで科学の体験を通して普及活動を進めてきた。2015年4月にみよしまちづくりセンターから生涯学習センターに拠点を移し現在に至る。			
団体概要	<p><目的> 地域住民に対して、自然科学及び産業技術に関する興味と関心を高めて、科学技術を愛し創造性あふれる人材を育成することに関する事業を行うことにより、科学技術の振興を図ることを目的とする。</p> <p><構成> 会長以下7名の団体構成員を有する。</p>			
活動実績	平成28年度(見込)	平成27年度	平成26年度	
	天体観測会 科学講座(100gにチャレンジ、水と空気で動くおもちゃを作る、LEDの原理等)	天体観測会 科学講座(ホーバークラフト、手作りハシ、霧を作る、天気講座等)	天体観測会 科学講座(ホーバークラフト、手作りハシ、霧を作る、天気講座等)	
団体の財政状況	総収入	828,000円	668,000円	639,000円
	総支出	828,000円	640,263円	649,325円
	当期損益	0円	27,737円	△10,325円
	子どもゆめ基金助成金の交付実績	なし	なし	なし
	その他の補助金の交付実績	三次市:600,000円 マツダ財団:150,000円	三次市:600,000円	三次市:600,000円

注) 活動実績において、過去3年間に子どもゆめ基金助成活動を実施していた場合は、必ず記入してください。
「平成28年度(見込)」は、交付決定を受けている活動に限り、活動名と交付決定額を記入してください。

消耗品の内訳リスト

区分	品名	単価	個数	金額	備考	分類
消耗品費	星座早見盤	2000	15	30000	参加者 説明貸し出し用 お碗型タイプ渡辺製作所→平面タイプでないもので分かりやすく説明する	1天体観測会
消耗品費	レーザーポインター	7000	1	7000	天体観測会 星座説明。参加者へ実際の星の位置を説明するため。	1天体観測会
消耗品費	自転車ホイール	5000	1	5000	慣性実験のデモ 天体の自転、慣性の法則を説明するために、自転車の車輪を回して実演をする。	1天体観測会
消耗品費	エアースプレー	500	2	1000	機材の清掃用	1天体観測会
消耗品費	レンズクリーナー	2000	1	2000	機材の清掃用 ペーパー、クリーナセット	1天体観測会
消耗品費	虫除けスプレー	300	3	900	天体観測会 参加者、スタッフで屋外で使用	1天体観測会
消耗品費	書籍	950	1	950	星の手帳	1天体観測会
消耗品費	書籍	1080	1	1080	天文年鑑	1天体観測会
消耗品費	シリカゲル	1000	1	1000	機材の清掃用	1天体観測会
消耗品費	白熱電球	200	4	800	星の明るさ実験	1天体観測会
消耗品費	使いきりカイロ	300	3	900	観測会 望遠鏡の曇り止め	1天体観測会
消耗品費	角材、蛍光塗料等	13000	1	12710	看板作成費	1天体観測会
消耗品費	ジャイロパワーボール	2462	1	2462	テックジャム 慣性体験	1天体観測会
消耗品費	シリカゲル	1000	1	1000	機材の清掃用	
消耗品費	書籍	2160	1	2160	星雲・星団ウォッチング	
消耗品費	書籍	2700	1	2700	改訂新版 全天星座百科	
消耗品費	書籍	750	1	848	図説 月面ガイド	
消耗品費	発泡スチロール各種	108	12	1296	容量の大きい体験するものとして購入	2チャレンジ100g
消耗品費	接着剤 発泡スチロール	400	1	400	容量の大きい体験するものとして購入	2チャレンジ100g
消耗品費	ビー玉	108	5	540	容量の小さい体験するものとして購入	2チャレンジ100g
消耗品費	エアーマット	500	1	500	容量の大きい体験するものとして購入	2チャレンジ100g
消耗品費	DVD	1500	1	1500	試作品及び参加者配付(持参品との比較)	3手作り分光器
消耗品費	アクリル板	400	3	1200	LED屈折 光路の表示	3手作り分光器
消耗品費	回折格子シート	4500	2	9000	テックジャム 100mm*100mm(光の原理の説明)	3手作り分光器
消耗品費	分光シート	2360	1	2360	テックジャム	3手作り分光器
消耗品費	偏光フィルム	3283	1	3283	テックジャム	3手作り分光器
消耗品費	ホロスペックフィルム	950	1	950	テックジャム	3手作り分光器
消耗品費	ホロスペックフィルム	950	1	950	テックジャム	3手作り分光器
消耗品費	シートレンズ 凹	1747	1	1747	テックジャム	3手作り分光器
消耗品費	シートレンズ 凸	1710	1	1710	テックジャム	3手作り分光器
消耗品費	簡易分光器製作キット	2873	1	2873	テックジャム	3手作り分光器
消耗品費	ナトリウムランプ	4300	1	4300	三菱 高圧ナトリウムランプ	3手作り分光器
消耗品費	水銀灯	3600	1	3600	三菱 HF100X/N	3手作り分光器
消耗品費	光ファイバー	2000	1	2000	クリスマスオーナメント	4LEDクリスマス
消耗品費	装飾用 デコレーション	108	10	1080	クリスマスオーナメント	4LEDクリスマス
消耗品費	ポスカ	900	1	900	色文字の装飾	4LEDクリスマス
消耗品費	LEDキット	2000	10	20000	ダイオード、抵抗、ライト等の付属品一式(点滅、調光機能付き)マイコンキットドットコム	4LEDクリスマス
消耗品費	書籍 LED工作の素	2170	1	2170	技術評論社	4LEDクリスマス

消耗品費	模型キット	1200	10	12000	風力発電キット アーテック	5風力発電機
消耗品費	スモークマシン	8000	1	8000	風力の流れ、強さを実演して見せるため。	5風力発電機
消耗品費	風船	300	4	1200	実験デモ用. 対流の実演	5風力発電機
消耗品費	手回し発電機	1000	5	5000	アーテック	5風力発電機
消耗品費	発電機交換ギア	519	2	1038	アーテック	5風力発電機
消耗品費	老眼鏡	108	20	2160	分解破損を考慮し予備用も含む	6手作り望遠鏡
消耗品費	拡大鏡	108	20	2160	分解破損を考慮し予備用も含む	6手作り望遠鏡
消耗品費	植毛紙	850	2	1700	望遠鏡の制作	6手作り望遠鏡
消耗品費	発泡スチロール各種	108	5	540	望遠鏡の制作	6手作り望遠鏡
消耗品費	サークルガラスカッター	3440	1	2900	uxcell ガラス カッター レンズ	6手作り望遠鏡
消耗品費	望遠鏡製作キット	2000	10	20000	星の手帳社 口径40mm	6手作り望遠鏡
消耗品費	発泡スチロール各種	108	5	540	模型の土台等	7静電気の船
消耗品費	ライトレーサー	2000	12	24000	MR-002 イーケイジャパン	8ロボット
消耗品費	書籍	2500	1	2500	H 8 プログラミング入門	8ロボット
消耗品費	ワイヤーストリッパー	2400	3	7200	テックジャム PA-30	8ロボット
消耗品費	書籍	2592	1	2592	AVRマイコン活用ブック	8ロボット
消耗品費	ハンダごて台	700	5	3500	太陽電気	8ロボット
消耗品費	ハンダごてセット	1900	5	9500	ZACRO ダイアル式	8ロボット
消耗品費	ハンダペースト	500	2	1000	白光	8ロボット
消耗品費	接着剤、カッター等の加工品		一式	20000	接着剤、ノリ、ホットボンド、カッター	各講座共通
消耗品費	各種電池		一式	20000	単1～単5、ボタン電池各種	各講座共通
消耗品費	各種工作材料等		一式	20000	ストロー、クリップ、発泡スチロール等	各講座共通

消耗品合計

302399

比較的 購入金額が高くて、今回の助成で購入したい理由

(消耗品として計上しているが、今回、および来年度以降も活用していくものも含む)

品名	単価	個数	金額	購入理由	分類
星座早見盤(立体型)	2000	15	30000	従来まで天体観測会で通常の平面タイプの星座早見盤を使用していた。平面タイプでは、楕円の形状が平面に投射されていて、実際に星を見た場合、位置がずれてしまう。(特に地平線に低い星) 一方、今回の購入タイプは星の表示数は少ないものの、お椀型の形状となっていて星の位置のズレが少ない。また耐久性があり、夜露にも強い。過去の指導経験から、このタイプを参加者へ貸し出して活用していく。	天体観測会
レーザーポインター	7000	1	7000	屋外で星座を説明するときに、星座早見盤や当日作成の配布資料等を元に、実際の星を示す必要がある。市販の出力の小さいレーザーポインターでは、到達距離が短く、実際の星の位置を参加者に対して明示しにくい。このため、出力の高いレーザーポインターを今回、新たに購入する。	天体観測会
自転車ホイール	5000	1	5000	地球の回転、歳差運動などの原理を説明していく中で、コマを用いて実験する。自転車の車輪の一部を改造し、回転させる。回転体を実際に、参加者で持って見て、慣性の体験をする。	天体観測会
回折格子シート	4617	2	9234	分光器を製作していく中で、光の波動性も併せて説明する。原理のひとつとして、回折格子シートを使用して、明るさの見え方をこのシートを用いて説明する。併せて、分光シート、偏光フィルムなども比較しながら、光の原理を説明する。	手作り分光器
ナトリウムランプ	4300	1	4300	手作り分光器を製作し、実際の様々な照明装置、太陽光などを観察して、その差を観察する。照明装置の一つのナトリウムランプが当協会では保有をしていない。しかし他の光源と異なり、ナトリウムランプは、太陽光と比較して差が大きい。このため今回、新たに購入したい。なお、来年度以降も類似の実験を継続して実施していくため活用する。	手作り分光器
水銀灯	3600	1	3600	ナトリウムランプと同様に、太陽光と比較して差が大きい。今回新たに購入したい。	手作り分光器
スモークマシン	8000	1	8000	風力で動く自動車を作成し、風の原理、風の強さなどを合わせて説明する。この中で、デモ用として、段ボールによる空気砲を作成する。空気砲のデモを参加者に示すときに、風圧、風の流れなどを実際に見せる必要がある。裸火では危険を伴い、うまく現象が再現できない。このため、今回のスモークマシンを使用してデモを行う。なお、来年度以降も類似の実験を継続して実施していくため活用する。	風力発電機
手回し発電機	1000	5	5000	手で回して発電を実際に行い、模型を動かす。多数の参加者に対して、充電に時間がかかるために、複数の発電機が必要となる。また、使用頻度が激しく破損がしやすいため、消耗品の交換ギアも併せて購入する。	風力発電機
ロボットキット	2000	12	2400	主に小学生を対象に、ハンダ付けをしながら、模型キットを組み立てて動かす。ロボットの組み立ての基礎的技術を学ぶ。なお、次年度以降に、複数の回数で一連のロボット講座を開催することで、プログラムの基礎も含めて実施して行く予定。	ロボット
ワイヤーストリッパー	2375	3	7125	電気実験を行う際、被覆ビニール線を使用してハンダ付け等を行う作業がある。ワイヤーストリッパーがないと、短時間で工作ができないため。なお、来年度以降も類似の実験を継続して実施していくためにも活用する。	ロボット
ハンダゴテセット	1900	5	9500	ロボットをハンダ付けで組み立てるために購入。ダイヤル式で温度調節ができるため、初心者でも比較的、安全に使用できる。参加人数に応じて5個を購入。なお、来年度以降も類似の実験を継続して実施していくためにも活用する。	ロボット